



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月12日
上場取引所 大

上場会社名 大成温調株式会社
コード番号 1904 URL <http://www.taisei-oncho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆義
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 奥山 徹 TEL 03-5742-7301
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	31,395	2.7	△1,045	ー	△941	ー	△669	ー
24年3月期第3四半期	30,577	18.5	△99	ー	72	△82.3	△449	ー

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △660百万円 (ー%) 24年3月期第3四半期 △653百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△50.42	ー
24年3月期第3四半期	△33.82	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	35,765	17,065	47.7	1,284.64
24年3月期	38,596	17,965	46.5	1,352.18

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 17,065百万円 24年3月期 17,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	18.00	18.00
25年3月期	ー	0.00	ー		
25年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△0.4	310	△40.5	310	△57.8	50	△62.3	3.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	14,364,975株	24年3月期	14,364,975株
25年3月期3Q	1,080,327株	24年3月期	1,078,320株
25年3月期3Q	13,285,817株	24年3月期3Q	13,287,061株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要や12月の政権交代後の財政・金融強化への期待感により円安や株価の上昇がみられたものの、米国の財政問題、欧州の金融不安、更には近隣諸国との外交問題等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ関連の建設業界におきましても、公共投資の増加がみられたものの、民間設備投資は依然として低調に推移し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に基づき、国内外一体化となった事業展開、環境ビジネスへの積極的な取り組み、併せてコストダウンに全社一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比9.1%減の331億44百万円となりました。売上高は313億95百万円（前年同四半期比2.7%増）となりましたが、現在施工中の一部の大型工事において期初の計画利益に届かず、多額の工事損失引当金を計上したこと等により営業損失は10億45百万円（前年同四半期は営業損失99百万円）、経常損失は9億41百万円（前年同四半期は経常利益72百万円）、四半期純損失は6億69百万円（前年同四半期は四半期純損失4億49百万円）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るといった季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、「インド」及び「フィリピン」に関しましては、前連結会計年度末に報告セグメントとして追加したため、前年同四半期比は記載しておりません。

① 日本

売上高につきましては250億40百万円（前年同四半期比2.5%減）となり、セグメント損失は10億37百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

② 米国

売上高につきましては31億3百万円（前年同四半期比18.5%増）となり、セグメント損失は59百万円（前年同四半期はセグメント損失90百万円）となりました。

③ 中国

売上高につきましては31億3百万円（前年同四半期比36.9%増）となり、セグメント利益は1億66百万円（前年同四半期比429.2%増）となりました。

④ インド

売上高につきましては73百万円となり、セグメント損失は45百万円となりました。

⑤ フィリピン

売上高につきましては75百万円となり、セグメント損失は68百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は357億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億30百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、受取手形・完成工事未収入金等が61億77百万円減少し、現金預金が17億87百万円、未成工事支出金が11億92百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は187億円となり、前連結会計年度末に比べ19億30百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、支払手形・工事未払金等が27億3百万円減少し、短期借入金が増加した6億33百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は170億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億99百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が9億9百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、現在精査中ではありますが、現時点におきましては、中国の連結子会社が好調に推移し、また個別におきましては特に第4四半期会計期間において進行基準適用の大型工事の進捗率が大幅に上がり、売上高増が見込まれることや、海外子会社からの配当金が見込まれること等から、通期業績予想につきましては、平成24年11月9日に公表いたしました「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「平成25年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想と実績との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,953,755	11,741,452
受取手形・完成工事未収入金等	18,719,030	12,541,731
有価証券	94,122	41,602
未成工事支出金	1,649,048	2,841,961
商品	22,050	4,241
原材料	78,831	92,914
繰延税金資産	337,465	342,130
その他	1,292,994	1,711,663
貸倒引当金	△169,628	△61,537
流動資産合計	31,977,669	29,256,158
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,500,629	3,525,174
機械、運搬具及び工具器具備品	785,103	857,641
土地	1,876,868	1,876,746
建設仮勘定	81,375	225,748
その他	74,718	73,157
減価償却累計額	△2,745,106	△2,813,617
有形固定資産合計	3,573,587	3,744,851
無形固定資産	44,132	44,887
投資その他の資産		
投資有価証券	1,655,878	1,475,436
長期貸付金	225,311	396,153
繰延税金資産	344,583	347,224
その他	1,691,817	1,582,371
貸倒引当金	△916,551	△1,081,082
投資その他の資産合計	3,001,040	2,720,101
固定資産合計	6,618,760	6,509,840
資産合計	38,596,429	35,765,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	15,371,316	12,668,221
短期借入金	414,711	1,047,869
未払法人税等	491,875	40,270
未成工事受入金	2,316,344	2,819,661
賞与引当金	281,853	142,100
完成工事補償引当金	17,230	21,903
工事損失引当金	389,703	489,389
その他の引当金	5,531	10,817
その他	755,290	837,622
流動負債合計	20,043,856	18,077,856
固定負債		
長期借入金	1,836	1,837
退職給付引当金	424,249	472,389
その他の引当金	33,958	36,822
負ののれん	54,244	40,688
その他	72,317	70,412
固定負債合計	586,606	622,149
負債合計	20,630,463	18,700,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,087,248	5,087,248
利益剰余金	8,640,866	7,731,799
自己株式	△306,354	△306,940
株主資本合計	18,616,817	17,707,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,938	143,963
為替換算調整勘定	△779,789	△785,133
その他の包括利益累計額合計	△650,850	△641,170
純資産合計	17,965,966	17,065,993
負債純資産合計	38,596,429	35,765,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高		
完成工事高	30,031,533	30,909,352
その他の事業売上高	546,259	486,014
売上高合計	30,577,793	31,395,366
売上原価		
完成工事原価	27,473,833	29,158,388
その他の事業売上原価	396,370	354,607
売上原価合計	27,870,203	29,512,995
売上総利益		
完成工事総利益	2,557,700	1,750,963
その他の事業総利益	149,889	131,407
売上総利益合計	2,707,589	1,882,370
販売費及び一般管理費	2,807,251	2,927,836
営業損失(△)	△99,661	△1,045,465
営業外収益		
受取利息及び配当金	56,356	45,123
受取保険金	116,363	56,408
投資有価証券売却益	2	—
為替差益	—	30,621
貸倒引当金戻入額	12,435	—
その他	48,726	50,183
営業外収益合計	233,883	182,336
営業外費用		
支払利息	4,419	13,777
為替差損	55,062	—
貸倒引当金繰入額	—	54,635
その他	2,608	9,489
営業外費用合計	62,091	77,901
経常利益又は経常損失(△)	72,130	△941,030
特別利益		
固定資産売却益	—	792
特別利益合計	—	792
特別損失		
固定資産売却損	934	—
投資有価証券評価損	15,210	—
貸倒引当金繰入額	362,754	—
特別損失合計	378,899	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△306,769	△940,238
法人税等	142,593	△270,330
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△449,362	△669,907
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△449,362	△669,907

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△449,362	△669,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,669	15,024
為替換算調整勘定	△119,589	△5,344
その他の包括利益合計	△204,259	9,680
四半期包括利益	△653,622	△660,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△653,622	△660,227

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,690,971	2,619,631	2,267,190	30,577,793	—	30,577,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,690,971	2,619,631	2,267,190	30,577,793	—	30,577,793
セグメント利益又は損失(△)	△41,062	△90,553	31,546	△100,068	△672	△100,741

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	△100,068
「その他」の区分の損失(△)	△672
セグメント間取引消去	1,079
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△99,661

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	インド	フィリピン	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,040,264	3,103,572	3,103,044	73,331	75,154	31,395,366	—	31,395,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	25,040,264	3,103,572	3,103,044	73,331	75,154	31,395,366	—	31,395,366
セグメント利益又は損失(△)	△1,037,220	△59,900	166,950	△45,697	△68,296	△1,044,163	△768	△1,044,931

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	△1,044,163
「その他」の区分の損失(△)	△768
セグメント間取引消去	△534
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,045,465

4. 補足情報

個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況

期別	区分	期首繰越工事高 (千円)	期中受注工事高 (千円)	計(千円)	期中完成工事高 (千円)	期末繰越工事高 (千円)
前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	一般施設工事	23,732,415	11,789,892	35,522,308	12,585,062	22,937,245
	産業施設工事	3,662,004	6,159,043	9,821,047	4,367,482	5,453,564
	営繕・保守工事	4,028,027	10,369,240	14,397,268	8,200,540	6,196,728
	計	31,422,447	28,318,176	59,740,624	25,153,085	34,587,538
当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	一般施設工事	18,936,162	12,069,739	31,005,901	12,089,278	18,916,623
	産業施設工事	5,735,595	5,747,417	11,483,012	4,993,948	6,489,064
	営繕・保守工事	4,046,015	8,835,793	12,881,808	7,499,090	5,382,718
	計	28,717,773	26,652,950	55,370,723	24,582,316	30,788,406
前事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	一般施設工事	23,732,415	15,006,107	38,738,522	19,802,360	18,936,162
	産業施設工事	3,662,004	8,949,171	12,611,175	6,875,580	5,735,595
	営繕・保守工事	4,028,027	12,269,707	16,297,735	12,251,720	4,046,015
	計	31,422,447	36,224,986	67,647,434	38,929,661	28,717,773

(注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、期中受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、期中完成工事高にも係る増減額が含まれております。

2. 期末繰越工事高は(期首繰越工事高+期中受注工事高-期中完成工事高)に一致しております。